

A VENUE

vol.15

<http://www.kokusai-riyoubiyou.ac.jp/kbf/index.html>



CONTENTS

- 2 ●KBFスタッフ記念Tシャツを着て撮影
●アヴェニュー突撃レポート
- 3 ●アヴェニューレポート ロンドンから[パート2]
●レター 古荘先生から
- 4 ●BPC(ビジネスプロデュースコンペティション)とは?
●平成19年度 ビジネス美容科来客実習のお知らせ
●記念Tシャツ、DVD販売

国際理容美容専門学校校友会(KBF)機関誌 2007年3月1日発行 発行所/国際理容美容専門学校校友会(KBF) 本校舎 荒川区東日暮里5-17-12
TEL(03) 3803-6696 FAX(03) 3806-2084 発行人/和田美義(KBF会長) 編集人/角金広喜(第29期生)

BPC(ビジネスプロデュースコンペティション)

ビジネス美容科ではサロン現場における実践的なカリキュラムを中心とした授業を行っておりますが、在学中に培ったエステティックの知識・技術を活かして将来起業できる人材を目指した授業の一環として、今年度から「ビジネスプロデュースコンペティション」へ取り組むことになりました。



BPC(ビジネスプロデュースコンペティション)とは?

専門学校に在籍する学生が、日頃培った知識・技術を発想と結び付け、起業するためのプロセスとそのビジネスプランを発表することによって以下の目的達成を目指す教育プログラム。

- ① 専門学校生の起業意識の定着および発想力の向上の場を提供
- ② 専門学校生と「実際の起業家」との交流をはかり職業観を養う
- ③ 異分野の専門学校学生間の人的・教育的交流の促進

[BPC一次審査(予選)]ビジネスプラン書類選考 [BPC大会]プレゼンテーション(予選通過チーム)
■主催:全国専門学校情報教育協会

一次審査に向けた準備として、個人で発案したビジネスアイデアをグループワークにより絞り込み、それぞれチームを結成してビジネスプラン事業計画書を作成いたしました。また、チーム毎に事業計画書に沿ったプレゼンテーション資料作成と成果発表に向けたプレゼンテーション練習を繰り返しおこないました。



今年度のBPC予選には全国の多岐に渡る分野から11校計53チーム(内国際から6チーム)の参加があった中14チームが予選を通過、当校からも「デリバリー・ネイルケア」というビジネスプランが見事BPC大会への出場を決めました。

2月に実施されたBPC大会では残念ながら入賞することができありませんでしたが、審査員全員が「起業家」という緊迫した雰囲気の中で練習の成果を発揮して他校に引けをとらないプレゼンテーションを披露することができました。

今後も3月に実施される「学内コンペティション」での成果発表に向けて練習を続けております。皆さんも応援してください。

平成19年度 ビジネス美容科来客実習のお知らせ

平成18年度来客実習に足を運んで頂きまして、誠にありがとうございます。皆様がリラックスした時間を過ごして頂けたのであれば幸せに思います。



ビジネス美容科来客実習では、スタッフ一同のこもったハンドマッサージとサービスでお出迎えしています。最近肌の調子が悪い方、疲れていると感じている方、皆様の幸せな時間をお約束します。ご来店、心よりお待ちしております。

平成19年度日程 来客実習日程 ※基本的に土曜日に実施いたします。

1回目	5月19日	10回目	8月25日	19回目	12月15日
2回目	5月26日	11回目	9月01日	20回目	1月19日
3回目	6月2日	12回目	9月08日	21回目	1月26日
4回目	6月9日	13回目	10月13日	22回目	2月2日
5回目	6月16日	14回目	10月20日	23回目	2月9日
6回目	6月23日	15回目	10月27日	24回目	2月16日
7回目	6月30日	16回目	11月24日	25回目	2月23日
8回目	6月23日	17回目	12月1日	26回目	未定
9回目	6月30日	18回目	12月8日	27回目	未定

営業時間 10:00~15:00(最終予約受付時間) ネイル:14:00/フェイシャル:ボディ:13:00
*コース:ご来店からお帰りをきめ フェイシャル 120分/ボディ 100分/ネイル 60分

お申し込みは下記へご連絡下さい

国際理容美容専門学校 3号館 ビジネス美容科
TEL 03-5850-7201 FAX 03-5850-7202

記念Tシャツ販売

巻頭で紹介している「記念Tシャツ」を販売しています。購入希望の方は左記のハガキに必要事項を記入して投函してください。

KBF同窓会DVD会員名簿好評配布中!

DVDの紹介

【収録内容】

- 各科のプレゼンテーション映像
50年間発展を続けた母校の今を紹介
- KBFが語る 音と映像で綴る50年史
母校の歴史は私の歴史の1頁
- 会員名簿
(平成17年3月卒業生まで約18000名収録)
検索自由自在・同窓生の最新情報を集録
・その他美翔際・OBメッセージ・卒業生のお店紹介(協賛広告)など
※左記の返信ハガキにて申込み下さい。送料無料で。

DVDを購入された先着20名さま限定に「記念Tシャツ」をプレゼントいたします。(Tシャツの希望サイズにもチェックをお願いします)

KBFカード(ETCカード対応)

KBFでは、UFJニコス(株)と提携してKBFカードを発行しています。

《会員限定特典》

- 割引特典がございます。
- 学校窓口にて教材の10%割引。●KBF主催のセミナーなどの会員割引。
- KBFの会報誌(アヴェニュー)をお届けを致します。
- あなたの結婚式に祝電のサービスを致します。



詳しいお問合わせ、入会ご希望の方は事務局までTEL又はメールにて問い合わせください。

KBF事務局 03-3803-6696(担当 関根)
e-mail kbf@kokusai-riyoubiyou.ac.jp
アヴェニューへのご意見ご希望などもお寄せください。

郵便はがき

116-8790

料金受取人払

荒川局承認

988

差出有効期間
平成20年8月
31日まで

東京都荒川区東日暮里5-17-12

国際理容美容専門学校
KBF(校友会)事務局 行

50周年記念DVD・Tシャツ申込書

希望のものにレ点を付けて下さい。どちらも送料無料で。

50周年記念DVD(6,500円)
先着20名さま限定で「記念Tシャツ」をプレゼントいたします。(Tシャツの希望サイズにもチェックをお願いします)

Tシャツ(2,000円)
希望サイズ
 110 130 SS S M L LL

送先 〒 _____

氏名 _____

電話番号 (_____) _____

卒業年度・学年 _____



美翔祭で、スタッフ全員が 記念Tシャツを着てくれました。

2006年の11月に開催された美翔祭「Junction」にて、職員、スタッフの生徒全員で「記念Tシャツ」を着てくれました。

美翔祭「展示教室」KBF

今回も、KBFでは美翔祭の「展示教室」で参加です。モデルは在学中の生徒さんに協力してもらいました。



AVENUE

突撃リポート

安心感を共有したくて。

皆さんこんにちは。今回で2回目を迎える(1回で打ち切りならなくてよかったです)突撃リポートは、数多くの愛読者からの熱烈なラポールにお答えして、前回に引き続き、1921年創業と長い歴史を持つ、水谷シザース(株)へ突撃リポートを敢行してまいりました。今回は、専務取締役の岡晋氏にお話を伺ってきました。氏は自らも技術者としての意識も高く、「自分で作っているからこそ、お客様のニーズに自らその場で応え作っているのです。」との事です。今回のリポートの中で「安心感」という言葉が度々出てきますが、これは、ユーザーの方に安心感を持って仕事をしてもらいたいという願いではないかと考えます。言葉としては簡単ですが、実際には非常に困難であることは言うまでもありません。その為には、鉄の素材の鋼板から厳選し、デザインに沿って切り出し、ハンドルの形状やネジの位置まで考え抜き、材料に関しても、細かなパーツに至るまで全て made in japan にこだわっているとの事です。その1つの評価として、以前もグッドデザイン賞を受賞しましたが、昨年また「'06商品デザイン部門グッドデザイン特別賞」

を受賞しました。氏は「他社との比較ではなく、自分達がお客様をファンにさせていくことを常に考え、デザインし、また自社工場でお客様の手に合った形にしています。今は、鉄に手を合わせるのではなく、鉄に手に合わせるのです。例えば椅子1つにしても、如何に負担をかけずに座りやすい形にするか、というような「人間工学」的な考えを取り込んでいます。実は、水谷シザース(株)には人間工学を専門に学んだスタッフもいるのです。」と言います。このよう1つ1つ手間隙かけて研究、製作することで、使い続けても疲れにくい鉄ができ、ユーザーの方の安心感につながっているのですね。安心感というお話でもう一つ。最近では輸入している鉄も多く、理・美容師の方でも、目で見てもなかなか違いがわからないと思いますが、硬度計で測ってみるとビックリ、何と3割近く輸入したものよりも硬度が強いのです。外国製でひどいものになると、いつの間にかハンドルが曲がってしまうものもあるみたいです。今話題の「耐震偽装」みたいなものですね(ちょっと古いかなあ)。先述した通り、全て自社工場で作業を行っている為、実際に足を運んでもらい、鉄の選定や困っていることに応える、言わばカウンセリングもしており、その手に合ったものを、その場で調整することもできるそうです。氏いわく「夕方4:00くらいに出してもらえれば、翌日にはお渡しできます。」自社工場の強みと、1人1人のプロ意識の強さには、改めて感服させられました。更には、「鉄もカット技術も日本が1番、そ

のカット技術が上がっていく中で、信じられないようなカット技法をする人が増えてきている。そんな時代だからこそ、技法に合わせた鉄を使い分けてもらいたい。そうすることで、カット時間を短縮することもできるし、如いては顧客満足に繋がります。専用の鉄を使えば、カットの可能性がひろがり、今までできなかったカットが出来るようになるなど、技術で対応出来ない部分も、鉄でカバー出来るようになるのです。これからはユーザーの方のニーズにしっかり応えていくと同時に、理・美容師さんにも色々提案していきたい。」と、鉄に対する想いはまだまだ尽きることはありません。最後に、将来的な展望は?と聞いたところ「現在20カ国以上で水谷の鉄が使われていますが、もっともっとグローバルな形で世界中の人々に水谷シザースを知ってもらいたい。」と更なる期待が膨らむようなコメントをいただきました。この記事を読んだ、アベニュー愛読者の皆さん、1度、水谷シザース(株)に足を運んでみてはいかがでしょう?きっと、きっと、きつと色々な発見や感動が待っていますよ。

以上、第2回突撃リポート「水谷シザース(株)」編でした。

ライター 石山 洋(理容科)



岡 晋さん
水谷シザース(株)
専務取締役



水谷シザース(株)の方を迎える研修の実習授業

レポート AVENUE Report in London



男ふたりのロンドン珍道中 PART2

今回は珍道中第2弾(しつこくてすみませんm(____)m)と言うことで、昨年の7月23日(日)からロンドンヘヴィダルサッソンの研修へ行ってきました。実は、今回の研修仲間の工藤先生とは、2年前も一緒にロンドンへ来ましたが、その時は2人とも初めてだったので、不安だらけの1週間を過ごしました。今回は少し慣れていた事もあり、不安を抱えつつも、期待で胸が膨らんでいました。そして、私は前回(そう、あの事件だらけの2週間です)の反省も踏まえて、冷静に行動するつもり...でしたが、宿泊したホテルのせいで、冷静さを失ってしまいました。何と、私達の今回の宿泊先は、サッカーで世界的に名を誇るあの名門「チェルシー」の本拠地に隣接するホテルだったのです。いきなり2人とも大喜びで、その場で写真を1枚(写真1を参照)。しかも驚くことに、テレビをつけると、「チェルシーテレビ」と言うサッカー専門のチャンネルがあったのです。(前回のピリヤード中継とは大違い)ホテルに着いて早々見入っちゃいました。ともあれ、次の日から研修という事もあり、その日は早めの就寝です。そんな初日を迎えながら、今回も珍道中スタートです。とは言え、今回は楽しい話を期待しないでください。研修初日ホテルを出て、私は何か違和感を覚えました。ロンドンと言えば、湿度が少なく、涼しいことで有名ですが、今年は例年まれに見え異常気象により、猛暑猛暑猛暑の連続で、汗かきの私にとってはかなりの苦戦を強いられました。飲み物を買うにしても値段が高く、初めは我慢していましたが、いつかそんなことも言てられず、常に1リットルのペットボトルを持ちながらの生活になっていました。最終的には食費以上だったかもしれません。まあ、夕飯は相変わらずスーパーで半生ペンを買い、ホテルで自炊(1食約150円くらいです)だったわけですが.....

そんな中、研修は進んでいくわけですが、この場所には何度来ても新鮮であり感動させられます。それはカット技術だけでなく、教え方や見ている人の引き付け方などです。技術に関しては、全ての作業に対して一切妥協を許さないその姿勢、例えば、いくらモデルさんを待たせていても、セクショニング1つで1時間くらいやり直させられることもあります。そして自分が納得できなければ、いくら時間をかけても、完成系を求め、またそれだけの時間をかけても、モデルさんを納得させてしまう技術力や話術、正にどれをとっても「プロ」です。講義では技術だけではなく学生へのティーチングなども教えてもらい、またサッソンの先生方前でデモンストレーションを行い、色々な指導を受けてきました。なかには、緊張のあまり、終わった瞬間泣き出してしまふ人もいます。実は、私は前回に引き続き、デモンストレーションは今回が2回目ですが、それでも頭の中が真っ白でした。でも、その経験が自分を大きく成長させてくれたような気がし

ます。また、いつでもサッソンの先生方は楽しく講義やデモンストレーションをしており、講義を受けている私たちが楽しくなります。やはり自分が楽しくなければ、楽しい授業が出来ないのだと改めて感じました。話せば他にも伝えたい事がたくさんあるのですが、この感動は文章では書ききれないのでこれくらいにしておきます。言葉が上手く伝わらない、文化も違う、環境も違う異国の地で勉強する事、これは間違いなく、かけがえのない一生の財産になると思います。皆さんも機会があれば、是非行ってみてください。そして最終日、そう帰国の日、この日にまとめてお土産を買うべく、私が毎回必ず立ち寄る大好きなマーケット「カムデンタウン」に向かいました。朝市をねらって8時過ぎに.....



現地モデルをカットしている工藤先生(左)と石山先生(右)

が、開いてなく、となりのお店のおじさんは「30分後に開くよ」と一言。他のお店を散策しながら、またネクタイ屋へ。またまたさっきのおじさんが「30分後に開くよ」。しょうがなく、また他の場所を散策して、ネクタイ屋へ。そう、ご想像の通り結局開かず、ほとんどお土産を買えないまま、急いでホテルに戻り帰路につきました。(今明かしますが、買っていったお土産はスーパーで買ったものばかりです。すみません)

以上、ロンドン珍道中第2弾でした。

石山 洋(理容科)



チェルシーの本拠地、スタンフォードブリッジスタジアム

石山先生と一緒に「ロンドンヴィダルサッソン」へ、研修に行っていました。約1週間という短い期間ではありますが、とても充実したものになりました。内容としては、前回(2年前)とは少し異なり、技術の勉強はもちろんですが、どうやら相手(学生)に、上手く伝わるか、理解してもらえるか等、その技術の見せ方、伝え方をなども勉強した1週間でした。当然、人間モデルでの実習になりますので、モデルとのコミュニケーションはやはり大変でした。片言の英語とジェスチャーで伝わらない場合は、紙に文字や絵を書いて説明し、やっと伝わる有様でした。通訳の方はいらっしゃいますが何故か悔しくて、細かい説明意図は、自力で会話していました。モデルとの会話が続かない場合は日本から持参したお菓子(マーブルチョコ、ハイレモン等)をあけてとても喜んでくれました。おつまみのソフトツナ(マグロのフレークを甘辛く煮付けた四角い固まり)をあげた時は「OH~ ジャパンエクスプローズ?」と不思議そうな顔で聞かれたので、「NO NO ハゴロモフーズ O-K?」と言ったら、それ以来会話がなくなりました。研修内容は、石山先生がレポートしているはずなので、その他で特に感じたことを簡潔に書きます。今回は観光する時間は全然なかったのですが、研修場所への行き帰りの町並みを見ると、日本とまったく違った文化がそこにあることを、改めて感じました。まず、建物においては高層ビルはなく、最大4、5階の建物ばかりで、しかも、昔からの建物をそのまま残して内装だけを変えるといった具合(法律があるらしい)に、伝統・文化を重んじ、景観に気を使う様には感心しました。同じ首都東京では地震が多い事もあると思いますが、雑居ビルが立ち並び、昔の面影は下町くらいにしか、感じられないのではないのでしょうか。日本においては美意識とはワビ・サビ・イキなど表現しにくいものではないかと思いましたが、英国においては、対称・統一感などではないかと思いましたが、やはり、ジェントルメンの国だけあって道を聞けば、聞いた人全員が丁寧に答えてくれました。しかし、交通ルールに関しては、ほとんどの人が信号無視で(無視してひかれた方にも責任があるらしい)日本の方がその点はしっかりしているような。どちらが「美しい国」なのでしょうかね...

工藤 佑輝(高等科)

Letter

卒業生の皆様へ...

国際理容美容専門学校 理容科
古庄 浩司



卒業生の皆様、お元気で頑張っていることと存じます。本校の理容科教職員として勤め初めた頃が昨日の事のように思い起こされますが、何ともはや、あれから14年も経ってしまいました。外見と同様(?)心もまだまだ新人同様、常にフレッシュな気持ちで業務に取り組むよう心がけております。永遠の青二才、「我以外、全て我が師匠」。今後も理容科と共に、学校と共にあり続けたいと思っております。さて、我々教職員にとりまして、一番の喜びは「卒業生の方が頑張っている」ということです。卒業生の方々、これからも期待しております。ぜひ皆様方のお力、業界を、国際を、そしてKBFを盛り上げていきましょう!そして、我々は今後も「開かれた学校づくり」を目指して行きたいと思っております。ぜひこのKBFを通して、お互いのスムーズな意思の疎通が出来るよう、ご協力をお願いいたします。懐かしい声、忌憚なきご意見、近況報告etc...、お待ちしております。

新校舎 4号館完成しました!

4号館(2006年9月完成、地上7階)



4号館には時代が求める、より高度な技術を修得するための設備が整っており、シャンプーやエステティクスの実践的な技術修得が可能です。本校舎から1分とかならない場所に位置しているため、通学にも便利。この4号館の完成で、国際この教育環境がよりいっそう充実しました。